



## 2021年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月13日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 若井 正雄  
 定時株主総会開催予定日 2021年5月28日 配当支払開始予定日 2021年5月31日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月31日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	16,765	0.0	1,147	105.5	1,344	130.7	995	161.0
2020年2月期	16,772	8.9	558	54.3	582	56.1	381	54.8

(注) 包括利益 2021年2月期 975百万円 (196.8%) 2020年2月期 328百万円 (64.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	59.47		7.3	6.9	6.8
2020年2月期	22.79		2.9	3.2	3.3

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 百万円 2020年2月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	20,499	13,884	67.7	829.21
2020年2月期	18,505	13,243	71.6	790.94

(参考) 自己資本 2021年2月期 13,884百万円 2020年2月期 13,243百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	2,280	1,726	371	4,498
2020年2月期	27	852	325	4,314

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期		0.00		20.00	20.00	334	87.8	2.5
2021年2月期		0.00		20.00	20.00	334	33.6	2.5
2022年2月期(予想)		0.00		20.00	20.00		42.4	

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	10.3	1,100	4.2	1,130	16.0	790	20.7	47.18

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期	18,400,000 株	2020年2月期	18,400,000 株
期末自己株式数	2021年2月期	1,655,480 株	2020年2月期	1,655,480 株
期中平均株式数	2021年2月期	16,744,520 株	2020年2月期	16,744,520 株

(参考)個別業績の概要

2021年2月期の個別業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	12,432	4.4	898	68.0	951	61.5	661	83.3
2020年2月期	11,908	9.2	534	54.7	588	54.4	361	60.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	39.53	
2020年2月期	21.56	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	17,244	12,850	74.5	767.42
2020年2月期	16,930	12,514	73.9	747.39

(参考) 自己資本 2021年2月期 12,850百万円 2020年2月期 12,514百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(追加情報) .....	13
(企業結合等関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	16
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20
4. その他 .....	21
受注及び販売の状況 .....	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内外で新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、景気は昨年4～5月に未曾有の落ち込みとなった後、5月の緊急事態宣言全面解除後は経済活動が再開し、緩やかながらも回復基調となりました。

しかしながら、11月頃からの第3波と言われる感染再拡大により、今年1月に再度緊急事態宣言が発出されるなどの影響を受け、景気回復のペースは鈍化し、先行き不透明な状況となっています。

また、世界経済についても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により各国の経済活動が大幅に縮小した後、経済活動維持と感染拡大抑制の両立模索の中で緩やかながらも景気回復に向かっていましたが、感染再拡大により、景気回復の不透明感を増しています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。また、ジェネリック市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、当期2021年2月期を初年度とする第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)をスタートし、お客様、新製品、グローバル、成長などをキーワードに新しく以下の7つの経営目標を掲げました。

- ①グループ連携
- ②完全顧客視点
- ③イノベーション重視
- ④グローバル経営
- ⑤成長戦略の実行
- ⑥業務改革と働き方改革の推進
- ⑦コンプライアンス／コーポレートガバナンスの重視

この経営目標を達成することにより、個別の市場環境に影響されにくい経営体質を構築すべく、当連結会計年度は、連結売上高178億円、連結営業利益10億円を目標に掲げ、グループ一丸となって活動してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は167億65百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は11億47百万円(同105.5%増)、経常利益は13億44百万円(同130.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億95百万円(同161.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により輸出案件の一部に出荷の遅れが発生し、売上高は微増に止まったものの、米国子会社が米国政府によるコロナ対策の補助金約2.1百万ドルを受け取ったほか、グループ全体として経費削減を図ったことにより、営業利益は増加となりました。

なお、2020年11月にイタリアの医薬品製造機械装置メーカーCos. Mec S. r. lを買収して完全子会社化したことにより、同社の第4四半期の業績を連結決算に反映しております。

この結果、売上高は111億71百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は10億84百万円(同248.5%増)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、一部の製品についてユーザーの生産調整や納入時期が翌期にずれ込んだ影響もあり、売上高、営業利益ともに減少となりました。

また、食品品質保持剤は、新型コロナウイルス感染拡大により、お土産品やデパートでのお菓子の売上が低迷した影響を受け、売上高、営業利益とも減少となりました。

一方、健康食品の受託においては、ユーザーの在庫積み増し需要により、売上高、営業利益とも増加となりました。

この結果、売上高は55億93百万円(同1.1%減)、セグメント利益は5億46百万円(同30.1%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億94百万円増加し、204億99百万円となりました。この主な要因は、のれんが10億89百万円、建物及び構築物（純額）が5億97百万円、有価証券が2億12百万円、原材料及び貯蔵品が2億3百万円増加したことによるものであります。

また、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億53百万円増加し、66億14百万円となりました。この主な要因は、リース債務（固定）が3億91百万円、前受金が2億39百万円、未払法人税等が1億83百万円、退職給付に係る負債が1億15百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億40百万円増加し、138億84百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加（前年同期は12億20百万円の減少）し、44億98百万円となりました。

当連結会計年度各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は22億80百万円（前年同期は27百万円の減少）となりました。これは、仕入債務の減少3億40百万円の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益の計上13億23百万円、売上債権の減少6億74百万円、減価償却費4億14百万円等の増加要因によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は17億26百万円（前年同期は8億52百万円の減少）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出（Cos. Mec社買収）11億6百万円、有形固定資産の取得による支出4億69百万円等の減少要因によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は3億71百万円（前年同期は3億25百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払3億33百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

わが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動水準の低下を余儀なくされており、引き続き感染拡大抑止と経済活動正常化のバランスを見ながらの展開の中で、景気回復ペースは緩やかとなると予想されます。ワクチンの普及ペースや効果の持続性、変異株への効果等、不確定要素も多く、今後の動向は不透明な状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、国内市場においては、一部の高価格帯医薬品の販売数量が伸びた一方で、薬価改定による価格引き下げと新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制の影響を受けています。先行きは、高齢化の進展に伴う販売数量の増加が見込まれるものの、薬価改定や市場拡大再算定等の薬価抑制政策の影響を受け、微減推移が予想されています。また、ジェネリック市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されています。

一方、世界市場においては、国内市場と同様に新型コロナウイルス感染拡大による受診抑制の影響を受けていますが、先進国での高齢化進展と新興国での人口増加・医療水準の向上を背景に、今後も成長することが予想されています。

このような環境のなか、当社グループといたしましては、当期を初年度とする第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)を策定して、機械部門、化成品部門ともに営業力の一層の強化を図るとともに、お客様の真のニーズに技術力をもって応える体制を整備して、開発・販売のグローバル展開をより積極的に推進しております。

これらにより次期業績予想につきましては、売上高185億円（前年同期比10.3%増）、営業利益11億円（同4.2%減）、経常利益11億30百万円（同16.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益7億90百万円（同20.7%減）を予想しております。

なお、この業績予想は、新型コロナウイルス感染による影響が、次期2022年2月期末に向けて緩やかに収束すると仮定に基づいております。

海外子会社の業績の通期平均為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=125円を想定しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値の極大化を経営の最重要課題と位置付けており、その成果については、事業環境の変化に対し機動的かつ適切に対処できるよう企業体質の強化を図りつつ、株主の皆様への利益配分を図りたいと考えております。

利益の配当につきましては、業績に応じた成果配分を行うことを基本として年間の連結配当性向30%を目標とし、経営基盤の強化や将来の事業拡大を見据えた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、継続して安定配当を行う方針であります。

当連結会計年度の配当につきましては、1株当たり20円の普通配当を予定しております。

また、次期(2022年2月期)の配当につきましては、1株当たり20円の普通配当を予定しております。

当期の内部留保につきましては、将来の事業展開に向けての経営体質強化や事業領域拡大に向けた投資などに有効に活用してまいります。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,314,123	4,498,482
受取手形及び売掛金	5,013,789	4,659,895
電子記録債権	417,513	210,221
有価証券	—	212,500
商品及び製品	647,754	798,624
仕掛品	1,390,426	1,457,682
原材料及び貯蔵品	1,013,444	1,217,155
前払費用	139,944	151,597
その他	261,804	362,421
貸倒引当金	△5,471	△10,342
流動資産合計	13,193,328	13,558,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,327,759	3,940,707
減価償却累計額	△1,909,199	△1,924,716
建物及び構築物 (純額)	1,418,559	2,015,990
機械装置及び運搬具	2,026,554	2,474,831
減価償却累計額	△1,390,508	△1,647,906
機械装置及び運搬具 (純額)	636,046	826,924
土地	1,231,252	1,159,307
建設仮勘定	530,193	349,369
その他	1,423,302	1,522,699
減価償却累計額	△1,029,473	△1,139,664
その他 (純額)	393,828	383,035
有形固定資産合計	4,209,880	4,734,626
無形固定資産		
のれん	—	1,089,741
ソフトウェア	19,811	24,138
その他	76,270	75,659
無形固定資産合計	96,081	1,189,539
投資その他の資産		
投資有価証券	319,151	334,321
事業保険積立金	269,227	269,227
繰延税金資産	208,497	214,482
退職給付に係る資産	1,530	1,251
その他	213,029	203,302
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,006,036	1,017,185
固定資産合計	5,311,999	6,941,351
資産合計	18,505,327	20,499,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,754,324	1,754,454
電子記録債務	1,367,537	1,212,083
短期借入金	32,829	55,793
未払法人税等	61,729	245,299
未払費用	333,886	379,357
前受金	775,289	1,014,771
賞与引当金	237,693	269,742
役員賞与引当金	6,000	32,000
その他	454,630	853,926
流動負債合計	5,023,920	5,817,429
固定負債		
長期未払金	35,547	34,689
リース債務	2,601	394,370
退職給付に係る負債	165,114	280,598
資産除去債務	31,683	46,472
役員退職慰労引当金	—	23,697
その他	2,512	17,648
固定負債合計	237,458	797,476
負債合計	5,261,378	6,614,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,964,299	12,625,221
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,516,050	14,176,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,680	22,149
為替換算調整勘定	△298,749	△330,168
退職給付に係る調整累計額	12,967	15,729
その他の包括利益累計額合計	△272,101	△292,289
純資産合計	13,243,948	13,884,682
負債純資産合計	18,505,327	20,499,588



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	16,772,877	16,765,389
売上原価	11,344,395	11,126,271
売上総利益	5,428,481	5,639,118
販売費及び一般管理費	4,870,030	4,491,453
営業利益	558,450	1,147,664
営業外収益		
受取利息	4,380	3,667
受取配当金	7,547	7,023
受取技術料	5,974	9,881
受取賃貸料	1,266	1,297
受取保険金	4,548	152,876
為替差益	786	—
その他	10,894	33,364
営業外収益合計	35,397	208,111
営業外費用		
支払利息	719	2,008
支払補償費	8,373	1,199
為替差損	—	5,782
その他	1,888	1,858
営業外費用合計	10,981	10,848
経常利益	582,866	1,344,926
特別利益		
固定資産売却益	14,231	25,748
投資有価証券売却益	2,200	—
特別利益合計	16,431	25,748
特別損失		
固定資産除却損	26,445	36,396
固定資産売却損	1,155	7,546
投資有価証券評価損	950	—
減損損失	2,188	3,631
特別損失合計	30,739	47,574
税金等調整前当期純利益	568,558	1,323,101
法人税、住民税及び事業税	237,283	315,532
法人税等調整額	△50,252	11,756
法人税等合計	187,030	327,288
当期純利益	381,528	995,812
親会社株主に帰属する当期純利益	381,528	995,812

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	381,528	995,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,778	8,469
為替換算調整勘定	△33,096	△31,419
退職給付に係る調整額	2,050	2,761
その他の包括利益合計	△52,825	△20,188
包括利益	328,703	975,624
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	328,703	975,624

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,918,177	△773,363	13,469,928
会計方針の変更による累積的影響額			△515		△515
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,917,661	△773,363	13,469,412
当期変動額					
剰余金の配当			△334,890		△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益			381,528		381,528
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	46,637	—	46,637
当期末残高	1,035,600	1,289,513	11,964,299	△773,363	13,516,050

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,459	△265,653	10,917	△219,276	13,250,651
会計方針の変更による累積的影響額					△515
会計方針の変更を反映した当期首残高	35,459	△265,653	10,917	△219,276	13,250,136
当期変動額					
剰余金の配当					△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益					381,528
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21,778	△33,096	2,050	△52,825	△52,825
当期変動額合計	△21,778	△33,096	2,050	△52,825	△6,187
当期末残高	13,680	△298,749	12,967	△272,101	13,243,948

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,964,299	△773,363	13,516,050
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,964,299	△773,363	13,516,050
当期変動額					
剰余金の配当			△334,890		△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益			995,812		995,812
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	660,921	—	660,921
当期末残高	1,035,600	1,289,513	12,625,221	△773,363	14,176,972

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	13,680	△298,749	12,967	△272,101	13,243,948
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	13,680	△298,749	12,967	△272,101	13,243,948
当期変動額					
剰余金の配当					△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益					995,812
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,469	△31,419	2,761	△20,188	△20,188
当期変動額合計	8,469	△31,419	2,761	△20,188	640,733
当期末残高	22,149	△330,168	15,729	△292,289	13,884,682

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	568,558	1,323,101
減価償却費	386,491	414,446
減損損失	2,188	3,631
支払補償費	8,373	1,199
のれん償却額	—	27,420
受取保険金	—	△152,876
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,126	32,090
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,000	26,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,270	250
受取利息及び受取配当金	△11,927	△10,691
支払利息	719	2,008
為替差損益 (△は益)	△1,827	1,091
有形固定資産売却損益 (△は益)	△13,075	△18,202
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,200	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	950	—
保険解約損益 (△は益)	321	—
有形固定資産除却損	26,445	36,396
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,106,299	674,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△590,227	△112,902
その他の資産の増減額 (△は増加)	△94,541	186,875
仕入債務の増減額 (△は減少)	921,933	△340,684
前受金の増減額 (△は減少)	114,548	△42,301
その他の負債の増減額 (△は減少)	66,026	235,536
その他	△352	△6,757
小計	273,960	2,280,153
利息及び配当金の受取額	11,927	10,691
利息の支払額	△719	△2,008
保険金の受取額	—	152,876
法人税等の還付額	19,469	7,121
法人税等の支払額	△324,133	△174,019
その他	△8,373	5,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,868	2,280,475
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
連結の範囲の変更を伴う子会社持分の取得による支出	—	△1,106,137
資産除去債務の履行による支出	—	△4,700
有形固定資産の取得による支出	△835,378	△469,320
有形固定資産の売却による収入	30,470	88,986
有形固定資産の除却による支出	△585	△4,410
無形固定資産の取得による支出	△56,637	△8,321
投資有価証券の取得による支出	△2,502	△3,558
投資有価証券の売却による収入	4,200	—
保険積立金の解約による収入	9,661	—
差入保証金の差入による支出	△1,697	△28,729
差入保証金の回収による収入	147	21,695
譲渡性預金の預入による支出	—	△211,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△852,322	△1,726,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	36,389	48,548
短期借入金の返済による支出	—	△76,018
リース債務の返済による支出	△3,653	△9,141
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△25,398	—
配当金の支払額	△333,131	△333,793
その他	—	△1,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,794	△371,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,323	2,296
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,220,308	184,359
現金及び現金同等物の期首残高	5,534,431	4,314,123
現金及び現金同等物の期末残高	4,314,123	4,498,482

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大により、機械部門においては装置の出荷の遅れ、化成品部門のうち品質保持剤事業においては、テーマパークやデパートの営業自粛を受けたお菓子等の販売低迷による売上減少の影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会経済活動に大きな影響を与える事象であり、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。新型コロナウイルス感染症の収束時期は想定より遅く、2022年2月期末に向けて緩やかに収束すると仮定し、固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Cos. Mec S. r. l. (以下 Cos. Mec) 及びその子会社1社

事業の内容 医薬品等製造機械装置の製造、販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は経営ビジョンとして、世界中の人々の医療と健康の未来に貢献し、豊かな生活と食の安全・安心を支える技術を生み出し、育成していくことを目指しています。2020年3月から開始した第8次中期経営計画において、グローバル経営と成長戦略の実行を経営目標として事業を推進しています。

国内製薬市場は高齢化により今後も着実な成長が見込まれていますが、新興国の製薬市場は人口の伸びと医薬品の需要増加により、先進各国に比べ高い成長率が予想されています。

こうした中で、今般、イタリアの医薬品製造機械装置メーカーCos. Mecの子会社化の検討を進めた結果、売買契約が合意に至り同社を完全子会社化いたしました。

子会社化の目的及び理由

①	Cos. Mecの製品と当社グループの製品ラインに重複が少なく、同社が豊富な納入実績を持つ中間原料の搬送・プロセス装置を当社グループの販売網で拡販することが可能であること。また、フロイントグループが得意な造粒・コーティング装置をCos. Mecの販売網で拡販することが可能であること。
②	Cos. Mecと当社グループの顧客および国・地域に重複が少なく、お互いの製品のクロス・セリングが可能であること。
③	Cos. Mecの業歴は30年あり、高いコスト競争力と自社工場での内製化により安定的に業績をあげていること。
④	Cos. Mecの子会社化により当社グループは日本(フロイント産業)、米国(Freund-Vector Corporation)、欧州(Cos. Mec)の三極体制で、新興国を含む全世界へのリーチを高めることができること。

(3) 企業結合日

2020年11月5日(持分取得日)

2020年9月30日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする持分の取得

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した持分比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として持分を取得したことによるものです。

2. 当連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年10月1日から2020年12月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 9,750千ユーロ(1,192,425千円)

取得原価 9,750千ユーロ(1,192,425千円)

上記の取得価額は暫定的な金額であり、今後の価額調整により最終的な取得価額は上記と異なる可能性があります。なお、円貨額は取得日である2020年11月5日の為替レートにより換算しております。



4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

8,775千ユーロ (1,089,673千円)

なお、当連結会計年度末において取得原価の配分が完了していないため、当該のれん金額は暫定的に算定されたものであり、現時点では確定しておりません。

(2) 発生原因

主として、今後の事業展開により期待されている将来の超過収益力により発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは機械装置、化成品の製造販売を行っており、機械事業、化成品事業を当社グループの報告セグメントとしております。

・各セグメントに属する主な製品・サービス

機械 …………… 粉粒体機械装置、粉粒体機械のプラント工事、計器・部品、合成樹脂の微粉碎受託

化成品 …………… 医薬品添加剤、栄養補助食品、食品品質保持剤、製薬・食品・化学等の開発研究、処方検討等の受託、医薬品の新剤形の開発及びその技術供与

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,118,858	5,654,018	16,772,877	—	16,772,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,118,858	5,654,018	16,772,877	—	16,772,877
セグメント利益	311,116	781,690	1,092,806	△534,356	558,450
セグメント資産	9,167,797	4,197,371	13,365,169	5,140,158	18,505,327
その他の項目					
減価償却費	250,634	130,195	380,829	5,662	386,491
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	660,048	290,799	950,848	348	951,196

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△534,356千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額5,140,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券、保険積立金等)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額5,662千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額348千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	機械部門	化成品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,171,415	5,593,974	16,765,389	—	16,765,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,171,415	5,593,974	16,765,389	—	16,765,389
セグメント利益	1,084,329	546,112	1,630,441	△482,777	1,147,664
セグメント資産	11,613,333	4,234,078	15,857,713	4,652,176	20,499,588
その他の項目					
減価償却費	259,797	148,937	408,735	5,711	414,446
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	421,900	203,940	625,840	11,407	637,248

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△482,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額4,652,176千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券、保険積立金等)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額5,711千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,407千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
12,195,441	1,393,026	1,502,174	557,828	1,124,406	16,772,877

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	イタリア	計
2,973,552	1,147,321	89,006	4,209,880

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
12,089,840	1,571,995	642,003	702,471	1,759,078	16,765,389

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	イタリア	計
2,988,811	1,158,830	586,985	4,734,626

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

固定資産に係る減損損失を「機械」セグメントにおいて203千円、「化成品」セグメントにおいて1,984千円計上しております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない固定資産に係る減損損失を3,631千円計上しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

「機械」セグメントにおいて、のれんの償却額27,420千円を計上しております。なお、当該のれんの未償却残高は1,089,741千円であります。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
1株当たり純資産額	790円94銭	1株当たり純資産額	829円21銭
1株当たり当期純利益金額	22円79銭	1株当たり当期純利益金額	59円47銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	381,528	995,812
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	381,528	995,812
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,744	16,744

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	10,227,445	86.4	12,386,712	121.1

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	4,695,673	86.5	6,615,881	140.9

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	11,118,858	66.3	11,171,415	66.6
化成品部門	5,654,018	33.7	5,593,974	33.4
合計	16,772,877	100.0	16,765,389	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。